

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 10 月 2 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 東京都港区高輪3-22-12
独立行政法人地域医療機能推進機
構
氏 名 理事長 山本 修一

(法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名)
電 話 03-5791-8220

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12
氏 名	独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長 山本 修一

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	ドクリツギョウセイホウジンチイキリョウキノウスイシンキコウ ヨコハマチュウオウビョウイン
病院名	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院

3 所在地

〒231-8553 横浜市 中区山下町268番地 電話：045-641-1921
--

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	250床	250床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>6</u> 床 (主な設備) 救急蘇生装置、人工呼吸器 他
化学検査室	(主な設備) ベッド、リクライニングチェア 他
細菌検査室	(主な設備) 別紙1参照
病理検査室	(主な設備) 別紙1参照
病理解剖室	(主な設備) システム解剖台、解剖用具 他
研究室	(主な設備) 電子カルテシステム、プロジェクター 他
講義室	収容定員 <u>81</u> 人 室 数 <u>1</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 書 数 <u>18,830</u> 冊程度 雑 誌 <u>35</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>1</u> 台 (内訳: 患者搬送用自動車1台) (主な設備) 特になし(必要時積込可能)
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>9.75</u> m ² 【共用室の場合】 <u>薬剤部長</u> 室と共有

(注)主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	75.9%
	①紹介患者数	3,512人
	②初診患者数	9,819人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	3,508人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	1,681人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	117.0%
	⑦逆紹介患者数	5,418人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	6人	歯科医師	0人	看護師	22人
薬剤師	1人	臨床検査技師	1人	臨床工学技士	1人
診療放射線技師	1人	保健師	0人	看護補助者	1人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	6床
専用病床	0床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
特定集中治療室	83.7㎡	(主な設備)救急蘇生装置、人工呼吸装置 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
画像診断部	109.0㎡	(主な設備)MRI、CT、血管造影装置 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
内視鏡室	69.0㎡	(主な設備)内視鏡装置、簡易ベッド 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

神奈川県救急告示医療機関(1988年～)
 横浜市脳血管疾患救急医療体制病院(2014年～)
 横浜市心疾患救急医療体制病院(2015年～)
 横浜市二次救急一般輪番病院(2023年～)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1) 救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,477人
	(3,405人)
上記以外の救急患者の数	2,153人
	(1,621人)
合計	6,630人
	(5,026人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A : 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	
B : 救急医療圏(2次医療圏)人口 [※]	3,771,005人
C : $A/B \times 1,000 > 2$	0.0

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	500施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	500施設
医療機器共同利用件数	500件
共同利用病床数	6床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他(SARS-CoV2-RNA遺伝子検出検査)	<input checked="" type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input checked="" type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有

無

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	188施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件—開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注)登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

「救急隊と横浜中央病院の勉強会」 テーマ①: 当院で治療した症例と転院搬送した症例 講師: 脳神経外科部長 テーマ②: 総合診療科の役割 講師: 総合診療科医長 開催日: 令和6年11月27日 出席者: 横浜市内救急隊員20名

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	13回
(2) (1)の研修参加者数	686人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	111.60㎡	(主な設備) プロジェクター、電子カルテシステム、音響 他
		(主な設備)
		(主な設備)
		(主な設備)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)		副院長
管理担当者(役職名)		医事課長
保管場所		
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	総務企画課
	閲覧実績	地域医療連携室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域医療連携室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)		副院長	
閲覧担当者(役職名)		医事課長	
閲覧の求めに応じる場所		総務企画課・医事課・地域医療連携室	
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>第1回: 令和6年6月17日 議題①地域医療支援病院としての運用について 議題②地域からの消化利率アップに向けた取り組みについて</p> <p>第2回: 令和6年9月30日 議題①地域医療支援病院としての運用について 議題②外来患者数の増加について</p> <p>第3回: 令和6年12月16日 議題①地域医療支援病院としての運用について</p> <p>第4回: 令和7年3月17日 議題①地域医療支援病院としての運用について 議題②病診連携の強化について</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
	「その他」記入欄
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	副院長、外来看護師長、総務企画課長 医事課長、社会福祉士、地域医療連携室事務員
患者相談件数	27件
患者相談の概要	
<p>苦情:病棟看護師の対応について 報告:内視鏡施行医師の対応について 要望:会計システムについて その他:なりすまし電話について</p>	

(注)患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期			

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要			

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要			

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容			
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組			

令和4年1月1日

独立行政法人地域医療機能推進機構横浜中央病院 登録医制度運用規定

第1) 総則

1. 目的

この規定は、独立行政法人地域医療機能推進機構横浜中央病院（以下、病院とする）が地域の医師及び医療従事者に施設、設備を開放し、情報の共有不足の解消と地域医療の質の向上、患者さまへの良質で高度な医療サービスの提供を行うため、地域の医療従事者が病院において診療、研修等を行い地域医療の充実、発展を図ることを目的とする。

2. 登録医制度

登録医制度の内容は、次の3種類とする。

- (1) 開放型病院共同診療制度
- (2) 医療機器共同利用制度
- (3) 研修会等参加制度

3. 登録医制度を利用する医師等の遵守事項

登録医制度を利用する登録医は、病院内においては次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、あらかじめ地域医療連携室に連絡をしてから利用する。
- (2) 病院に来院の際、登録医証の提示をし、所定の名札、白衣を必ず着用する。
- (3) 病院内の諸規則を遵守する。

4. その他

- (1) 登録医制度を利用する登録医に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。
- (2) 登録医制度の実施により生じた患者さまとの紛争、若しくは病院職員との紛争などについては、別途協議のうえ対応する。

第2) 医療機関等の登録

1. 事前登録

登録医制度は、研修会等参加制度を除き、その利用にあたって事前に登録をしなければならない。

2. 登録名

登録医制度の利用登録名は、医療機関名をもって登録するものとする。

3. 登録の対象医療機関等

登録医制度の利用登録を希望するすべての医療機関を対象とする。

4. 登録の申請

- (1) 登録医制度の利用登録を行おうとする医療機関は、「登録医申請書」により院長に申請するものとする。
- (2) 院長は、申請内容を審査し利用登録を承認する場合、「登録医管理簿」に登録機関の名称、所在地、制度などを利用する医師の氏名等を登録するものとする。

5. 登録医証の発行

「登録医管理簿」に登録された医療機関の登録医に対しては、「登録医証」を発行する。

6. 登録内容の変更

「登録医管理簿」に登録された登録医等の内容を追加または変更する場合は、地域医療連携室に変更の旨を連絡する。

7. 登録医の解除

登録医の必要がなくなった医療機関等は、「登録医制度（変更・解除）申請書」により登録医解除の申し出をし、「登録医証」を返還しなければならない。

8. 登録の取り消し

登録医等に医師として品格を損なう行為等があった場合、院長はその登録を取り消すことができる。

第3) 開放型病院共同診療制度

1. 開放型病院共同診療制度の内容

登録医制度に登録された医療機関から紹介され入院した患者さまについて、かかりつけ医である登録医と当院の主治医とが共同して、当該患者さまの検査、処置、指導を行うことにより、退院後の円滑な診療につなげることを目的とする。

2. 登録医の権限

当院の主治医の同意のもと、紹介患者さまのカルテ閲覧及び診療上で必要と思われる事項について、情報を得ることができる。

3. 利用できる対象者

当該共同利用ができる医療従事者は、登録された医療機関の登録医とする。

4. 共同利用のための開放型病床

当該共同利用のための開放型病床を6床設ける。

※開放型病床は212号室(1ベッド)、312号室(1ベッド)、338号室(個室)、512号室(個室)、555号室(1ベッド)、361号室(1ベッド)

5. 事前調整

紹介し入院となった患者さまに対して当該共同利用を希望する登録医等は、あらかじめ地域医療連絡室へ連絡し、当院の主治医と事前調整を行わなければならない。

第4) 医療機器共同利用制度

1. 医療機器共同利用の内容

「医療機関登録医制度」に登録された医療機関が検査目的で紹介する患者さまの検査について、かかりつけ医である登録医と病院職員とが病院内の医療機器を共同利用することにより、かかりつけ医が円滑に診療を行うことを目的とした共同利用をいう。

2. 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医とする。

3. 対象医療機器

コンピューター断層撮影装置（CT）、磁器共鳴画像装置（MRI）、新型コロナウイルス感染症検査など

第5) 研修会等参加制度

1. 研修会等参加制度の内容

病院が行う研修活動などを地域の医療従事者に開放し病院職員とともに進めるもので、地域医療従事者の質の向上を図ることを目的とする。

2. 利用できる対象者

対象となる医療従事者は、登録された医療機関などの医療従事者とする。

3. 対象研修会等

病院が開催する研修会等のうち、周知された研修会等を対象とする。

4. 利用時の手続き等

開催される研修会等を利用しようとする医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項などを記入するものとする。

附 則

この規定は、令和4年1月1日から施行し、令和4年1月1日から適用する。

令和6年度における地域の医療従事者向けの研修開催一覧表

研修開催1		研修開催6		研修開催11	
研 修 名	神奈川肝疾患Forum	研 修 名	生活習慣病から考える心不全・慢性腎臓病セミナー	研 修 名	冠動脈疾患の2次予防について
テ ー マ	当院のHCV抗体陽性患者への受診勧奨	テ ー マ	生活習慣病と心不全StageA/Bの地域連携	テ ー マ	ACS 2次予防と管理
講 師	臨床検査技師	講 師	副院長	講 師	副院長
開 催 日	令和6年4月12日	開 催 日	令和6年7月24日	開 催 日	令和7年1月9日
対 象 者	県内の医師、薬剤師、臨床検査技師、医療従事者 など	対 象 者	中区・南区医師会員の先生方 など	対 象 者	中区・南区医師会員の先生方 など
参加人数	116名	参加人数	53名	参加人数	20名
研修開催2		研修開催7		研修開催12	
研 修 名	世界高血圧デーに降圧治療を考える	研 修 名	HCV病診連携講演会	研 修 名	第二回横浜市医師会協定事業心不全多職種連携研修会
テ ー マ	降圧管理におけるARNIのメリット イナーシャの克服	テ ー マ	DAA治療後の発癌リスクについて	テ ー マ	慢性心不全の地域医療連携と終末期ケア
講 師	副院長	講 師	消化器・肝臓内科医長	講 師	副院長
開 催 日	令和6年5月17日	開 催 日	令和6年10月23日	開 催 日	令和7年2月5日
対 象 者	中区医師会員の先生方 など	対 象 者	中区医師会員の先生方 など	対 象 者	医療従事者、訪問看護師、介護従事者、ケアマネージャー など
参加人数	30名	参加人数	21名	参加人数	80名
研修開催3		研修開催8		研修開催13	
研 修 名	首都圏 Network conference 心アミロイドーシス診断の連携を考える会	研 修 名	中消防署との勉強会	研 修 名	NST研修会
テ ー マ	当院での心不全の地域連携(心アミロイドーシス含む)の取り組み	テ ー マ	①当院で治療した症例と転院搬送した症例②総合診療科の役割	テ ー マ	①食べられなくなったとき、どうやって栄養をとりますか?②横中訪問看護の現場から見る栄養について
講 師	副院長	講 師	①脳神経外科部長②総合診療科医長	講 師	①院長補佐②師長
開 催 日	令和6年5月29日	開 催 日	令和6年11月27日	開 催 日	令和7年3月26日
対 象 者	東京都、神奈川県医師など	対 象 者	中消防署隊員、救命救急士等	対 象 者	医療従事者、訪問看護師、介護従事者、ケアマネージャー など
参加人数	110名	参加人数	20名	参加人数	13名
研修開催4		研修開催9		研修開催14	
研 修 名	第18回JCHO横浜中央病院 地域医療交流会	研 修 名	横浜中央 心不全地域連携講演会	研 修 名	
テ ー マ	医師の働き方改革時代の地域連携	テ ー マ	かかりつけ医と多職種との連携による心不全診療	テ ー マ	
講 師	横浜市医療局地域医療部長、統括診療部長、看護部副部長	講 師	内科主任部長(座長)、藤沢市民病院診療内科部長(演者)	講 師	
開 催 日	令和6年6月3日	開 催 日	令和6年12月9日	開 催 日	
対 象 者	中区医師会員の先生方 など	対 象 者	中区医師会員の先生方 など	対 象 者	
参加人数	院外62名、院内88名	参加人数	41名	参加人数	
研修開催5		研修開催10		研修開催15	
研 修 名	第27回 KNCC	研 修 名	医療法人社団 鴻鵠会 冬期研修会	研 修 名	
テ ー マ	インクリシラン投与によりLDL-C至適領域を達成した症例	テ ー マ	心疾患における地域連携の重要性について	テ ー マ	
講 師	循環器内科医師	講 師	副院長	講 師	
開 催 日	令和6年6月12日	開 催 日	令和6年12月14日	開 催 日	
対 象 者	中区医師会員の先生方 など	対 象 者	医療従事者、訪問看護師、介護従事者、ケアマネージャー など	対 象 者	
参加人数	20名	参加人数	100名	参加人数	

検体検査機器一覧

(別紙1)

部門	NO	機器名(機器一式)	メーカー	台数	備考
中央採血室	1	BC-ROBO-888	テクノメディカ	一式	採血間準備システム
検体部門	2	T-LABO-CL	テクノラボ	一式	病理・細菌・生理以外の検査システム
生化学	3	ARCHITECTplusci16200(i2000SR)	Abbott	1	免疫・マーカー(心筋・腫瘍) } 連結
	4	TBA-c16000	キャノンメディカル	1	
	5	ARCHITECTplusci8200(i2000SR)	Abbott	1	免疫・マーカー(心筋・腫瘍) } 連結
	6	TBA-c8000	キャノンメディカル	1	
	9	RAPIDpoint500	SIEMENS	1	血液ガス
	10	RAPIDpoint500e	SIEMENS	1	血液ガス
	11	LabFLEX2500	日立ヘルスケアシステムズ	1	検体前処理、開栓・分注機
	12	HCL-723G9	日本ケミファ(東ソー)	1	グリコヘモグロビン
	13	GA09	アットウイル(A&T)	1	血糖・尿糖定量 } 連結
	14	501RP	東ソー	一式	
	15	ELIXガルフストリーム100c	メルク		検査機器用純水装置
血液	16	Auto Vue Innova	Ortho	1	輸血検査測定装置
	17	Coapresta 3000	積水メディカル	1	凝固線溶測定装置
	18	セルダイン サファイア	Abbott	2	血算測定装置
	19	モニター-20	常光	1	全自動血球沈降速度測定器
一般	20	Ns-Prime	アルフレッサ	1	使人ヘモグロビン測定装置
	21	UF-1000i	Sysmex	1	尿沈渣測定装置
	22	US3100R-Plus	栄研	1	尿定性測定装置
	23	UA-ROBO-1000D	テクノメディカ	1	尿分取装置
細菌	24	BDバクテックFXシステム	BD(日本ベクトンディッキンソン)	1	血液培養自動分析装置
	25	マイクロスキャンWalkAway40plus	ベックマンコールター	1	一般細菌同定感受性システム
	26	LoopampEXIA、MS-16	栄研化学	1	等温核酸増幅装置(LAMP法)
	27	cobas Liat システム	ロッシュ・ダイアグノスティックス(株)	1	全自動リアルタイムPCR装置
	28	ID-NOWインストルメント	アポットダイアグノスティックス(株)	1	等温核酸増幅装置(NEAR法)
病理	29	Polar-B	サクラ	1	術中迅速切片作製検査
	30	ASP200S	ライカ	1	自動包埋装置
	31	EG1160	ライカ	1	パラフィン包埋装置
	32	HI1220	ライカ	1	パラフィン伸展機
	33	病理封入装置CV5030	ライカ	1	封入用装置
	34	AUTOSTAINER XL	ライカ	1	自動染色装置